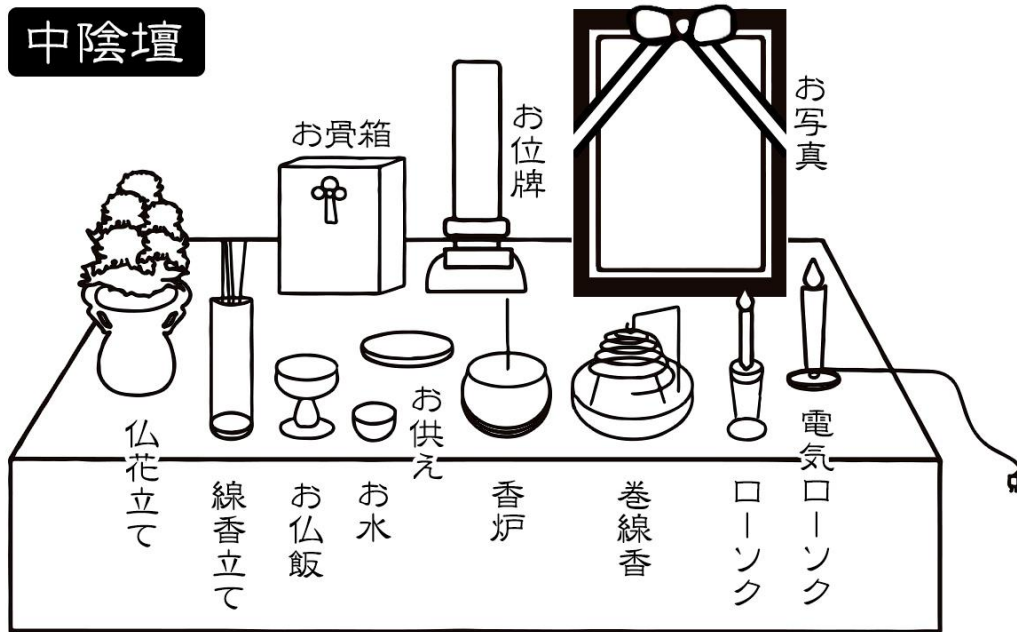


御自宅での中陰壇（後飾り）の説明



満中陰（四十九日法要）までの祀り方

- * 通常時は線香・蠟燭ですが、夜間は電気ローソクを使用し、目を離される時やお休みになられる時は、線香・蠟燭・巻線香のいずれも消されることを心掛けて下さい（火の元は絶対に注意すること）。
- * お仏飯・お水・お供え類（故人の好物）は食事前にお供えし、お下げした後は、御下がりとして皆でなるべく頂く様にして下さい。
- * 満中陰以降、遺影写真は部屋に飾り（上段）、骨箱は寺院・墓にお納めし、御位牌の安置は御寺院様にお聞きになられると宜しいでしょう。
- * 中陰壇に御性根（御魂）は入っておりません。後々、法要・お盆飾り壇の供え台として使用して頂き、その後不要となりましたら、御自宅にて処分をお願い致します。
- * 白い陶器類は新仏用ですので、御仏壇がある場合は49日で処分して下さい。（ビニール袋に入れ、塩を少々まいて、地域の燃えないゴミの日に出しても大丈夫です）
- * なお、宗派等により祀り方は異なる場合がありますので、泰聖寺に確認下さいませ。